

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を

ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会ニュース

NO. 14 2016年12月5日 ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

全教・道高教組・道教組に寄せられた台風被害支援カンパ 合計100万円を、被害の甚大な4町にお届けしました

11月29日、高教組の國田委員長・道教組の新保副委員長の2名で、甚大な被害を被った南富良野町、新得町、清水町、芽室町を訪問しました。訪問先では、教育長から被害状況も聞き、全道・全国から寄せられた台風被害支援カンパをお渡しすることができましたので、報告いたします。



寄せられた台風被害支援カンパをお渡しすることができましたので、報告いたします。

◇南富良野町

最初に支援カンパを贈呈し、岩淵教育長に被害状況を伺いました。「台風で、住宅、教員住宅、畑、道路、橋、水道などで被害が出ました。2年間分のゴミが出てどうしたものか。今は住宅の復旧を優先して行っています。農地の復旧は、冬になってしまったので、来春に土の入れ替えからしないとならない。3年間の激甚被害による国からの補助でなんとかしないと」と話されました。



◇新得町

武田教育長・学校教育課長に対応していただきました。「12月29日にはJRが回復するという情報もありますが、十勝毎日



給食センターが使えないため、3週間ぐらい簡易給食になりました。トイレが使えなくなり、困りました。交通機関がだめになり、高校生は通えない期間もありました」と話されました。

◇清水町

伊藤教育長・学校教育課長から被害状況をお聞きました。「水道、電気、電話はすべてダメになり、そのため給食は簡易給食になりました。中学生からは、もう少し食べたいという声もあり、家からおにぎりなど持参してもいいことにしました。そのような被害の中、高校生が給水ボランティアをしてくれて助かりました。列車が止まり、十勝バスが臨時便を出してくれました。農業被害は165億円にもなり、かなりの被害です。お風呂に入れない町民のため、十勝川温泉が1週間ぐらい開放していただき、助かりました」と話されました。



◇芽室町

芽室町は、武田教育長、学校教育課係長に対応してもらいました。教育長は教員異動のための面接の時間を割いて対応していただき、「来春の農家の作付けが出来るかどうか、被害の本当の状況が分かるのはこの後になってから。大切にに使わせていただきます」と謝辞を述べられました。

